

利賀っ子だより



R4. 11. 1

秋も深まり、学校の周りの木々がたいぶ色づきました。昨日まで、「小春日和」という表現にぴったりの天気が続いていましたが、今日は、午前中から雨模様となり、肌寒いです。登校する子供たちも上着を羽織っていました。ついに、校内の全館暖房を入れました。

教室では、寒さ対策をしながら、換気と空気の乾燥に気を配り、子供たちの健康に配慮していきます。



【グラウンドの桜】

○ 道徳科の時間



【低学年】

低学年は、教材文を基に古くから伝わる伝統や文化について考えていました。紅葉を「パッチワークみたい」と例えたり、テレビで見た七五三参りの様子を話したり、自分の経験を一生懸命に友達に伝えていました。

中学年は、感謝について話し合っていました。欠席している子供もオンラインで参加し、互いの意見をタブレット端末上で交流していました。自分の考えを入力する際に、友達の考えを見て、「そうか・・・」とつぶやいたり、意見を付け加えたりしていました。これまで学習のように先生を介さ



【中学年】

なくても子供同士で意見の交流ができるのがよいなと思いました。

高学年は、他人のために自分の命を削ってまで相手のことを思って行動した主人公の話に基づいて自分を振り返り、互いの考えを聴き合っていました。「自分はそんな高いレベルのことはできない。それでも、周りを見て、自分にできることはしている。」「自分にも人のことを考えて精一杯のことをしている。」等、高学年として、日々奮闘している自分のよさを見つけて、さらに高いことを目指そうとしている姿が印象的でした。



【高学年】

どの学級も友達の話を聴くことを大切にしている様子が伝わってきました。

(高田 公美)